

第3回 豊岡市地域医療計画策定委員会議事録要旨

日時：2025年11月5日（水）14：00～15：30

場所：豊岡市民会館 3階ギャラリー1・2

注）本議事録要旨は、会議における発言内容の要点を整理・要約したものであり、逐語録ではありません。

・出席者（順不同）

賀嶋委員、武田委員、山崎委員、安田委員、前田委員、津禰鹿委員、小森委員、田所委員、土生田委員

・配布資料

次第、資料1～資料4、追加資料

1 開会

事務局：開会宣言。

2 あいさつ

委員長あいさつの後、進行・資料確認を実施。

3 報告事項

(1) 資料1・2について

資料1「死亡場所の推移」について説明。資料2「訪問看護ステーション向けアンケート」は配布のとおり（説明は行わず）。

(2) 資料3について

計画全体のコンテンツ（目次）について説明。

(3) 当日追加資料について

レセプト将来推計について説明。

歯科入院外レセプト件数の増加について質問あり、推計方法は実績を基にしているものの需要の飽和は考慮しておらず若干の過大評価もあり得ると説明。

4 意見交換

資料4のうち「6. 基本方針と想定される対応策」の意見交換を実施。

方針1 医療提供体制の維持・確保

【医業承継】

- 豊岡市医師会を通じた承継意識調査の必要性提案。
- 兵庫県医師会のドクターバンクの利用促進。

【人材確保】

- 訪問看護について、研修自体はあるものの小規模事業所は人員の関係で参加困難。

方針2 安全・安心な受療機会の確保

【アクセスの確保】

- 受診アクセスが困難で、対策としてコミュニティバスが望ましいとの意見あり。
- 竹野地域では「たけの〜る」が導入されるなど仕組みづくりは進んでいる。
- ドライバー不足による交通サービス維持が困難になり、必要な人に適切なサービスが提供されるオンデマンド型への移行が必然との意見。

【救急医療の適正化】

- 緊急性の低い救急受診に対する「選定療養費」に関し、導入に向けてはさまざまな懸念点があるとの意見。
- 当該選定療養費の導入をした他の自治体の報告から、いわゆるウォークインが減る代わりに休日診療所の受診者が増えるといった受診行動の変化を招いている。

方針3 在宅医療（往診・訪問診療・訪問歯科）・訪問看護の持続可能性の確保

【在宅医療の担い手確保】

- オンコール対応の負担と支援について意見交換。
- 除雪や駐車場不足など、訪問看護の実地的な困難共有。
- 論点整理では夜間のことを取り上げているが、休日の課題もあるため追記するよう意見があった。

【多職種連携の強化】

- 医師会・病院との連携の重要性指摘。市も伴走支援が必要。

方針4 オンライン診療の基盤整備と普及

- 薬局におけるオンライン服薬指導の現状について共有。
- 高齢者への操作支援の必要性。
- オンライン拠点と看護師常駐での遠隔支援について事例共有。

方針5 市立診療所の持続可能性の確保

- 但東地域クロスプロジェクトで交通を含めた見直しが始まっている件を情報共有。
- 市立診療所において、診療人数の減少と今後の在り方について共有。

方針6 市立診療所の持続可能性の確保

- 地域での運営の構想があることを前回に引き続き説明。

5 その他

第4回策定委員会予定：12月18日（木）14:00 市役所 2階会議室

6 閉会

副委員長閉会あいさつ